



議会だより

Vol.111



入園、おめでとうございます。
 ～田子幼稚園入園式～
 令和4年4月8日、入園式が行われました。ワクワクとドキドキを胸に、小さな瞳はキラキラと輝いていました。

目次

- 1. 常任委員会現地視察 P2
- 2. 令和4年第1回定例会 P3
- 3. 一般質問／施政方針への質問 P4～ P8
- 4. 各委員会報告 P9
- 5. 予算特別委員会 P10～ P11
- 6. 特集（晴の市） P12

産業・民生常任委員会現地視察

令和4年1月18日、所管である各課の工事進捗状況を視察しました。初めに相米橋現地に赴き、資機材等の充足度合いを確認しました。町内各地の橋梁が老朽化しており、今後も工事が増える見込みであるとのことでありました。次に七日市矢田郎線道路改良の現場では水路を整備中であり、先々の道路舗装に向けての準備中であるとのことでありました。最後に本年4月竣工予定の旧民俗資料館の改修現場において、外構工事等の現状確認をいたしました。各工事とも順調に推移しており、春からの新しい町の様相が展望され、出席委員は皆安堵いたしました。（宇藤 大介）

田子根渡石亀線橋梁補修第2号工事（相米橋） 七日市矢田郎線道路改良第4号工事



橋や道路等の整備は、日常生活へ直結しているため安全かつ迅速に行なっていただきたい。



新たな水路を入れることで、小規模な土砂の崩落を抑止し、大きな災害を未然に防ぐ。



旧民俗資料館古民家改修事業



悠久の時を経て、受け継がれた伝統を守りつつ、新たな風が出会いを紡ぐ。縁側に座り、昔ながらの雰囲気を味わいながら会話を楽しむ。多くの旅人が立ち寄る。そんな場所になることを期待しています。



令和4年田子町議会定例会／臨時会

第1回定例会

令和4年第1回定例会が3月4日（金）から3月11日（金）までの8日間の会期で開催されました。

3月4日には諸般の報告、令和4年度町長施政方針、議案の上程・説明がされました。

3月7日の一般質問には3名の議員が登壇し多岐にわたり活発な議論がかわされました。

同日、施政方針に対する質問には1名の議員が登壇しました。

3月9日には、議案の審議、議案の付託がされました。

同日、予算特別委員会が設置され、令和4年度一般会計予算と特別会計予算について認定すべきものと決しました。

3月11日、議案の審議、人権擁護委員の候補者の推薦について、田子町消防委員会委員の推薦について、意見書（案）の提出について、陳情の付託、議員派遣の件、各常任委員会に係る所管事務調査の承認、令和4年度の議会議員旅行命令を議長に一任の承認が行われました。

同日、追加日程として議案2件が上程され、承認となりました。

第1回臨時会

令和4年第1回臨時会が1月22日（金）に開催されました。議案1件が審議され可決されました。

議案番号	上程議案の件名と主な内容	議決結果
議案第1号	令和4年度田子町一般会計予算について	原案可決 (賛8・否0)
議案第2号	令和4年度田子町一般会計予算について	原案可決 (賛8・否0)
議案第3号	令和4年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計予算について	原案可決 (賛8・否0)
議案第4号	令和4年度田子町後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決 (賛8・否0)
議案第5号	令和4年度田子町介護保険事業勘定特別会計予算について	原案可決 (賛8・否0)
議案第6号	令和4年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計予算について	原案可決 (賛8・否0)
議案第7号	令和4年度田子町水道事業特別会計予算について	原案可決 (賛8・否0)
議案第8号	田子町にんにく専用高温処理施設に係る指定管理者の指定について	原案可決 (賛8・否0)
議案第9号	田子町にんにく専用CA冷蔵庫に係る指定管理者の指定について	原案可決 (賛8・否0)
議案第10号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決 (賛8・否0)
議案第11号	田子町乳幼児医療費給付条例の一部改正について	原案可決 (賛8・否0)
議案第12号	田子町国民健康保険条例の一部改正について	原案可決 (賛8・否0)
議案第13号	田子町にんにく専用CA冷蔵庫設置管理条例の一部改正について	原案可決 (賛8・否0)
議案第14号	田子町文化観光交流施設の設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決 (賛8・否0)
議案第15号	田子町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	原案可決 (賛8・否0)
議案第16号	押印を求める手続の見直しのための関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決 (賛8・否0)
議案第17号	田子町監査委員の選任について	原案可決 (賛8・否0)
議案第18号	田子町教育委員会委員の選任について	原案可決 (賛8・否0)
議案第19号	町道路線の変更について	原案可決 (賛8・否0)
議案第20号	令和3年度田子町一般会計補正予算（第11号）について	原案可決 (賛8・否0)
議案第21号	令和3年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第4号）について	原案可決 (賛8・否0)
議案第22号	令和3年度田子町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第4号）について	原案可決 (賛8・否0)
議案第23号	令和3年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第5号）について	原案可決 (賛8・否0)
議案第24号	田子町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	原案可決 (賛8・否0)
議案第25号	令和4年度田子町一般会計補正予算（第1号）について	原案可決 (賛8・否0)

※議長は採決には加わりません。

一般質問

3月定例会では3月7日に一般質問が行われ、**3人の議員**が町政について質問をしました。
内容は、質問した議員が要約し広報委員会が調整したものです。
TCVでは録画放送を行っていますので、ぜひご覧ください。

○欠端議員・・・P5

- ・子どもへの支援について
- ・田子町、三戸畜産農協、北里大学の連携について

○尾形議員・・・P6

- ・農政への取り組みについて
- ・古民家再生事業について

○山崎議員・・・P7

- ・教育について
- ・第一次産業「農業・畜産・林業」の振興について

※通告書に基づき、質問事項を全て載せた一覧になります。
次ページからは要約した内容を掲載しています。

一般質問って？

一般質問は、町政全般にわたり疑問点を問いただし、町の様々な仕事について報告・説明を求め、町政のチェックを行う大事な議員活動の場です。



欠端 則夫 議員

子どもへの支援について

質 入学前の子どもの町の支援は。

答 町独自の取り組みで、0歳から高校生世代までの全町民が自己負担実質ゼロ円で医療を受けることができる。次に、毎月の保育料に対し町から0歳児から2歳児までの子どもに3分の1相当の助成金、3歳児から5歳児に関しては幼稚園保育園ともに無償化の対象となっている。また、町内こども園での延長保育に係る経費についても、町が全額負担している。そのほかにも、給食費補助金として、幼稚園や保育園

畜産業の新たなカタチについて

での昼食代の3分の1相当の額を町が助成している。

質 自宅保育者への支援は。

答 2歳児以上の全ての子どもが、保育園または幼稚園を利用している状況となっている。施設を利用せず、ご自宅での子育てを選択し、より多くの時間を家族で過ごすのも素晴らしい子育ての方法の一つであると考えている。しかし、町としては、集団生活だからこそ養うことのできる情操教育をより多く受けていただきたいとも考えおり、町内の施設においては入所枠も十分確保できているので自宅で保育している方への町からの支援につ

いては、具体的に考えていない状況です。

質 3歳児くらいまで家庭で保育する方への支援は考えられないか。

答 現在の家庭環境や親の仕事等を考慮すると、現状に合った取り組みをしている。しかし、情報発信、共有をしながら検討していく。



生活環境の充実は人口増加への鍵となる。

田子町、三戸畜産農協、北里大学の連携について

質 今後の計画は。

答 この協定の目的は「三者が相互に連携し地域の活性化とともに、次世代を担う優れた人材の育成と学術の振興に寄与すること」とし、実施内容としては、①受精卵移植技術にかかると、現状に合った取り組みをしている。しかし、情報発信、共有をしながら検討していく。



次世代に繋ぐアクションが必要となる。

質 当町だけの事業なのか。

答 畜産業は、当町にとって重要な産業だが、「田子町農業日書」の結果からも、今後の畜産の担い手が減少していくことが明確となり、対策の必要性を感じていた。そこで、様々な技術力を高めるため、産学官による協定締結に至った。

質 他町の関係者が入る場合の決まりは。

答 この協定は広域的な活動が進むこと

により、参加の有無や負担金の扱いなど様々な決め事が必要になってくるので、関係町村と目的や意義を共有し、合意形成を図りながら、協議していきたい。

質 クラスが上位の母牛から卵子を採取しないと上手くは行かない。しかし、良い牛は経費も高くなり100万では少ないと思う。また、広域的に取り組むのであれば様々な問題が出てくるので、早急に体制を整えてしっかりとビジョンを固めていただきたい。受精卵事業で母牛は買つのか、借りるのか、受精卵を買つのか決めていくか。

答 田子町が全権で取り組むわけではないので、連携して取り組んでいきたい。母牛に関して一つに決まらずに広域的な範囲で協議し、理解を得ていきたい。



尾形 憲男 議員

農政への取り組みについて

質 令和3年度産米価が大幅に下落し、労働費を捻出できないほどの下落となった。生産意欲の減退は否めない。再生産に向けた取り組みを後押しするための町としての取り組みを示せ。

答 令和3年度と令和4年度の2箇年にわたり、切れ目の無い営農継続支援を計画し、令和3年度では「米価下落対策緊急支援事業」とし実際の販売数量に対して支援金を交付する事業を実施し、その他に、カメ虫防除対策として実施した「安心・クリーン米対策」では、

生産者が安心 できる仕組みを

薬剤購入費の2分の1補助や草刈り助成を実施した。なお、令和4年度では、「水稲種子購入事業」を計画しており、水稲種子購入代金の10/10を交付したいと考えている。4月1日から申請受付を行い、早い方では4月下旬頃には支払いが行えるように体制を整えたいと考えている。更に、令和3年は米だけでなく、野菜も下落したことか

ら、自己防衛の重要性を強く感じ、農業全体の収入を補償する収入保険や主に米の収入を補償する「米・畑作の収入減少影響緩和交付金」いわゆる、「ナラシ対策」についても周知し、11月から農業者への直接通知や様々な座談会、会合において引き続き加入促進を進め

ていき、カメ虫防除対策も関係機関とともに啓蒙活動を計画的に実施し、必要な対策を検討していきたいと考えている。

質 種子購入事業について令和4年の種籾を購入する時に代金の相殺ができれば良かったと思っているが、できなかった理由は、

答 数値が動くので、支援申請を確定できないこともあり、販売者と事務的な協議し数値が確定したら進めることとなった。

質 野菜補助の3分の1補助の内容は、

答 下落幅を参考に苗の購入を支援したと考えている。

質 県でもニンニクを作った。詳細は把握しているか。

答 黒石系統であるとの情報は得ているが詳細は未定で、これから情報収集していきたい。

質 水田活用の直接支払い交付金の見直しについて町長の考えは、

答 時期尚早だと思っている。町としても、全体を見通しての見直しや受け側の支援策の充実、拡充を国に対して声を上げていきたい。

古民家再生事業について

質 補助事業の活用で再生に取り組んだが、工期の都合により取り止めた。国の反応を伺う。

答 古民家再生事業については最終的に本年1月21日付けで廃止申請書を提出し、令和4年1月28日付けで交付決定の取り消し通知を受けた。同年2月1日付けで設計業務委託の取り扱いについて、東北農政局に関係書類等の提出を行い、現在、東北農政局と農林水産省の間で協議・検討中であると伺っている。現時点での国の反応については今後の新たな事業申請についてのペナルティーはない事を確認しており、今後同様の事業を実施する場合は、事前の内容検討や関連機関とも合意形成をしっかりと行っ

た上で進めたいと考えている。

質 観光について町長の考えは、

答 農業を取り込んだ体験型など様々な交流人口を生み出し、盛り上げていきたいと考えている。

質 事業費返還がかかった場合の責任は、

答 町長の私にありません。今後は、しっかりと報告しながら進めていきたい。



当局とともに国への働きかけを。



観光の新たな拠点として期待されていた。



山崎 美代志 議員

教育について

町立小学校のあり方における、町及び教育委員会としての現段階の考え方、また方向性を示す時期は。

児童数の減少により、新入生がいない学年が生じるなど、学校運営が厳しい状況にあることから、小学校のあり方について検討を重ねた。教育委員会では様々な意見を検討した結果、子どもたちにとってより良い教育環境を目指し統合することとし、その時期は令和5年4月とする方向性を定めた。町としても統合を目標とする方向性で、今後は、子どもたちが安心して新しい小学校での生

子どもたちにとってより良い環境を

活を始めることが出来るように、また、保護者の皆様や教職員・関係者の不安を払拭するように統合の準備を進める。

閉校までの準備委員会はどうするのか。

3月中にも話し合う予定である。

統合後の通学方法はどのようになるのか。

3月中旬に保護者にアンケートを実施し、バス会社とも協議したい。

小中一貫の考えは。

地域懇談会でも意見があったが、現段階では小学校の統合に注力し、一貫教育については、次の段階でと考えて、今後、検討していく。

第一次産業「農業・畜産・林業」の振興について

農業振興について農家座談会で出された課題に対して具体的にどのような事務・事業を実施するのか。

また、農業経営収入保険の加入状況と加入促進に対する共済金等への町独自の一部助成を交付する考えは。

農家座談会の主な内容は、農地が荒廃する前に賃借等を進める仕組みづくりや農業における組織化などのご意見があり、葉たばこの廃作後については、ハウスの活用方法や葉たばこ生産で使用した機械等のマッティングの仕組みなどのご意見がありました。その他、今後の稲作については、水

田等における国の政策についてご意見があり、現在、農業委員会でも内容をまとめていくところである。今後、課題の洗い出しや分析を勧め、整理し、農業政策の方向性について検討し、令和4年度も引き続き農家座談会を実施し、地域農業の将来を考える機会を作りたい。次に農業経営収入保険について農業者への直接通知や様々な座談会、会合において周知し加入促進を進めます。なお、具体的な支援については今後の状況を見ながら検討したい。

対策を聞くことが重要だと考え、併せて近隣市町村の事例も参考にす。また、和牛の力強い産地づくりを念頭におきながら様々な対策を検討する。次に、粗飼料生産・集積のための作業機械導入ですが、米価下落対策や水田活用の観点からも飼料用米などへの転換が必要であると考えているが、収穫機は大変高価な機械であることや需要の動向、機械の必要性などについて今後検討する。

システム更新、県の実施する民有林の造林等補助事業の嵩上げを引き続き実施するほか、現地調査や整備方針、整備事業について基金を活用しながら取り組んでいきたい。次に、木の駅プロジェクト事業については、他町村の状況を聞いてみると当初は多くの参加希望者があったものの、現在は特定の方だけの利用となってしまうことや地域循環を想定した地域通貨も特定の事業者で滞り、循環できていない状況など様々な課題がある。さらに、今年度実施した民有林所有者アンケート結果からも約3割の方しか回答がなく、そのうち約4割の方が町に委託したいと回答していることから、森林への関心が低いものと推察され、不確定要素が多く現在の状況での設立は難しいと思われるが、様々な情報を収集し検討したいと考えている。

農家座談会の主な内容は、農地が荒廃する前に賃借等を進める仕組みづくりや農業における組織化などのご意見があり、葉たばこの廃作後については、ハウスの活用方法や葉たばこ生産で使用した機械等のマッティングの仕組みなどのご意見がありました。その他、今後の稲作については、水

畜産振興について田子牛の生産・増頭拡大のため先進事例の産地町村並みの支援・補助金を交付する考えは。また、粗飼料生産・集積のための作業機械導入支援の考えは。

林業振興について当町に配分された森林環境譲与税の予算執行状況と現状は。また、全国に広がる木の駅プロジェクト事業を実施する考えは。

先進事例を参考にした補助金の交付について、生産者との話し合いを通じて必要な

これまでの支出は令和2年度に森林システムの導入、令和3年度予算はシステム更新や造林補助金嵩上げなどを予定している。なお、令和4年度以降は、



山崎 美代志 議員

施政方針に対する質問について

施政方針とは、町長が町政の基本方針や政策について明らかにするものです。

田子町の未来のために出来ることを考え実行していく

美しいまちづくりの推進について

質

「令和2年度に策定した田子町美しいまちづくり推進計画」及び「第6次田子町総合計画」更には「田子町まち・ひと・しごと創生総合戦略」あるいは「日本で最も美しい村」連合推進事業などこれまでの計画策定と諸事業の実施上における課題への取り組みとその成果は。また、町民が安心して暮らせるまちづくりに、将来に向け、更に生き甲斐とやり甲斐に満ちた町民活動を展開していくとしているが、その町民・住民ニーズの把握に努めるための一つの手段として町民のしあわせ度・満足度といった「町民アン

ケート」を実施したかどうか。また、そのアンケート結果をもとに政策に反映したまちづくりを行ってはどうか。

答

取り組みと成果については、わかりやすく数値目標を定めて取り組んでいる総合戦略の視点からご説明します。事業を実施する上での課題としては、総合戦略の基本目標である「魅力あふれるしごとづくり」「みんなが住み続けたいまちづくり」「結婚から始まる子育て総合支援」「町民だれもが活躍できる社会づくり」の4つが柱になるものと捉えています。これらの目標を達成するため、中期計画に基づき、毎年ローリングを重ねながら長

めている。その成果はなかなか見えづらいものではありますが、例えば、第1期総合戦略の取組期間である平成27年度から令和元年度までの5年間を区切りとして振り返ってみると、協働のまちづくり意識の醸成により様々な地域づくり活動が各地域で行われるようになったことや自治会等による「ふれあいサロン」、各団体などのサークル活動などによる生き甲斐、やり甲斐づくりの場が創出されたことなどが成果として現れている。また、若者定住促進住宅の整備や民間アパートの建設促進などによる住環境の整備や各種定住・子育て支援事業などの実施により、令和2年の国勢調査による25歳から64歳までの階層別人口では平成27年からの5年



間で増加傾向となっており、子育て世代や働く世代の定住促進に一定の成果があったものと思われている。次に、「町民アンケートを実施したかどうか。そのアンケート結果をもとに政策に反映したまちづくりを行ってはどうか。」については、第6次総合計画の策定にあたっても取り入れていたが、町民意識の確認は重要視する必要がある、今後の計画立案において取り入れていきたい。

質

長期政権で目の届かないところも出てきていると思う。様々な情報を取り入れて新しい事に挑戦していくことも必要だと思つ。町民の負担を減らしながら、様々な支援を実施して欲しいが、町長の考えは。

答

町も町民も手を取り合って進むべきと考えている。町民が自立できる仕組みを試行錯誤しつつ、長期的に継続できる支援策を展開し、町民が喜びを感じて生活出来る、仕組みを作っていきたい。また、新しい事への挑戦については、取り組みが足りていなかった事と真摯に受け止め町民の声をしっかりと吸い上げ、議会議員とともに検討して進めていきたい。

議会運営委員会（議会広報編集委員会）

【構成委員】 宮村尚哉委員長 宇藤大介副委員長 尾形憲男委員
欠端則夫委員 北田騰委員

協議

○実施日 1月17日
令和4年1月17日
開会の令和4年第1
回臨時会の議事日程
について。

○実施日 2月22日
3月4日開会の令
和4年第1回定例会
の議事日程について。

議会広報編集委員会
○議会だより第11
0号

令和4年1月17日
に内容確認、誤字・
脱字・レイアウトに
ついて校正し、1月
19日に最終校正を行
い、1月27日に発行
した。
○議会だより第11
1号
令和4年2月22日
に構成、スケジュール
について協議し担
当者を割り振り、順
次業務を行うことと
した。

総務・文教常任委員会

【構成委員】 欠端則夫委員長 宮村尚哉副委員長 椛本義見委員
山崎美代志委員 澤口勝委員

○実施日 2月7日

教育課

町立小学校のあり方について、上郷・
清水頭地区で開催された地域座談会で
の意見を基に協議をし、町としての方
向性を定め、進めていきたい。

総務課

閉校する田子高校の今後の利活用に
ついて、各地域の同様の事例を調査し、
今後は現地調査を行い活用内容の絞り
込みを図る。

政策推進課

地域おこし協力隊の任期更新につい
て、新型コロナウイルスの影響により
活動に大きな制約を受けた隊員は特例
により、任期を最大2年延長でき、対
象となる3名の隊員は、希望する場合
は任期の延長が可能となる。

住民課

コミュニティバスに係る新田・夏坂
線の最終便の短縮運行や路線バス田子
線の起終点が変更になる。

税務課

一般税の徴収率が前年度と比較して
減となり、国保税においては増となっ
ている。ふるさと納税については、新
型コロナウイルス拡大前の令和元年と
比較すると約2倍になっている。

産業・民生常任委員会

【構成委員】 宇藤大介委員長 尾形憲男副委員長 蹴揚清人委員
北田騰委員 澤口勝委員

○実施日 2月8日

診療所・老健施設

医師2名体制を維持するとともに、
田子・三戸の医療連携は引き続き行い、
他の医療機関との連携も積極的に検討
したい。整形外科・小児科・泌尿器科
は、これまでと同様で診療支援をいた
だく。

地域包括支援課

PCR検査支援事業については、検
査キットの無料配布と、検査費用の一
部助成を3月末まで実施する。

住民課

保育士等処遇改善臨時特例事業では、
令和4年度に開始予定であったものを
本年2月から対象とし、前倒しを行う。

建設課

生活道路における歩行者の安全確保
を目的とした、ゾーンプラス30を實施
し、スムーズ横断歩道などを設置する。

産業振興課

民有林の適正な管理と整備を目的と
し、所有者に対して行われ、意向調査
の結果と考察について報告があり、今
後は現地調査や相続登記の推奨などを
行っていく。

農業委員会

農家座談会を開催し、意見を集約し
て産業振興課と情報を共有していく。

商工振興課

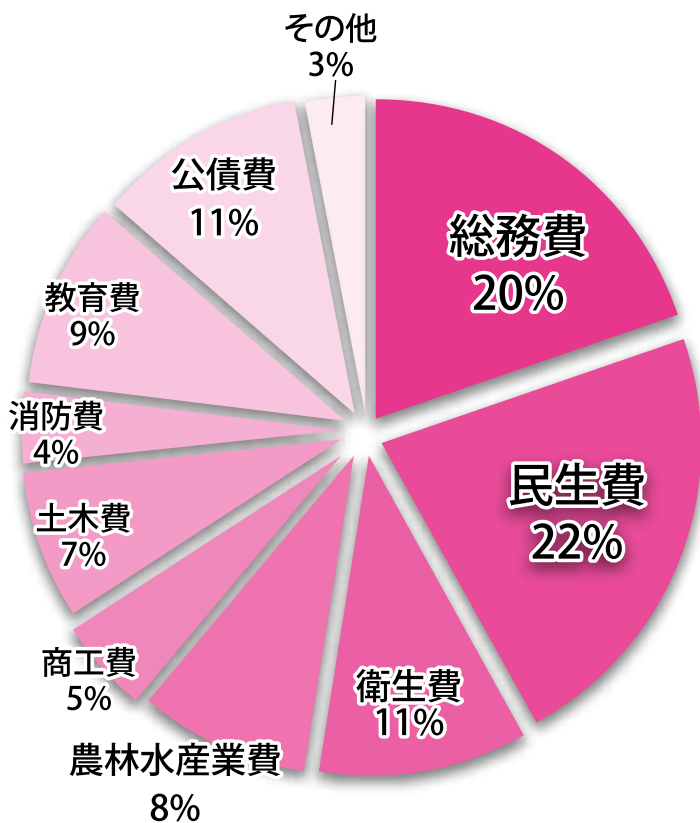
農産物物流通及び加工品開発等につ
いて、直売所が新型コロナウイルスの影
響に伴い活動ができていない状況か
ら、実証期間を2年程度延長し、外販
活動の強化に取り組んでいきたい。

4年度当初予算を認定

一般会計 歳出

総額：48億900万円
(前年比/105.1%)

項目	令和4年度		
	予算額(千円)	構成比	前年比
総務費	951,459	19.8%	120.2%
民生費	1,067,863	22.2%	105.8%
衛生費	510,534	10.6%	104.5%
農林水産業費	411,388	8.6%	74.7%
商工費	235,554	4.9%	188.7%
土木費	355,781	7.4%	101.8%
消防費	178,379	3.7%	110.3%
教育費	448,065	9.3%	103.6%
公債費	510,696	10.6%	89.3%
その他	139,281	2.9%	148.0%
合計	4,809,000	100.0%	105.1%



質問の一部を掲載しています。

欠端委員… コミュニティバス委託料は燃油高騰の影響を加味しているのか。
住民課長… 11月での見込みで加味した金額で積算しています。

尾形委員… 相米慎二監督に関する企画の今後の展開は。

政策推進課長… 残り6作品を上映予定とし、今までと同じではなくアカデミックな展開をしていきたい。

尾形委員… 地域おこし協力隊の人数と展開は。

政策推進課長… 人数は3人です。これからはニクニクの関係でイベントや企画について募集していく。しかし、コロナの影響もあり進めない状況である。

尾形委員… コミュニティバスの形態は。

住民課長… 現在8路線となり、運行の内容については必要に応じて変更を見直しをしていく。

尾形委員… 学童保育の財源はどこから。

住民課長… 県と国となっています。

蹴揚委員… ロッジカウベルの設計監理委託とは。
商工振興課長… 屋根の改修と建物の外側の木材部分の改修にかかるものです。

蹴揚委員… かなりの額をかけているが今後の計画は。

町長… 町の観光拠点として付近の整備やアトラクションの整備も行っていかなくてはならない。今までの、農産物を産する町から、交流人口を増やしていけるような観光の部分で近隣市町村と関係性を作り、展開していきたい。

尾形委員… 田子高校の閉校に伴う支援事業について予算は確保されているのか。また、確保している場合どんな支援事業を展開していくのか。

副町長… バスを八戸市内まで運行するなど、出来る限りのことは支援していきたいと考えている。

町長… 入学祝い金の範囲拡大や医療費助成、塾などの学力支援を展開していきます。

令和4年度予算特別委員会

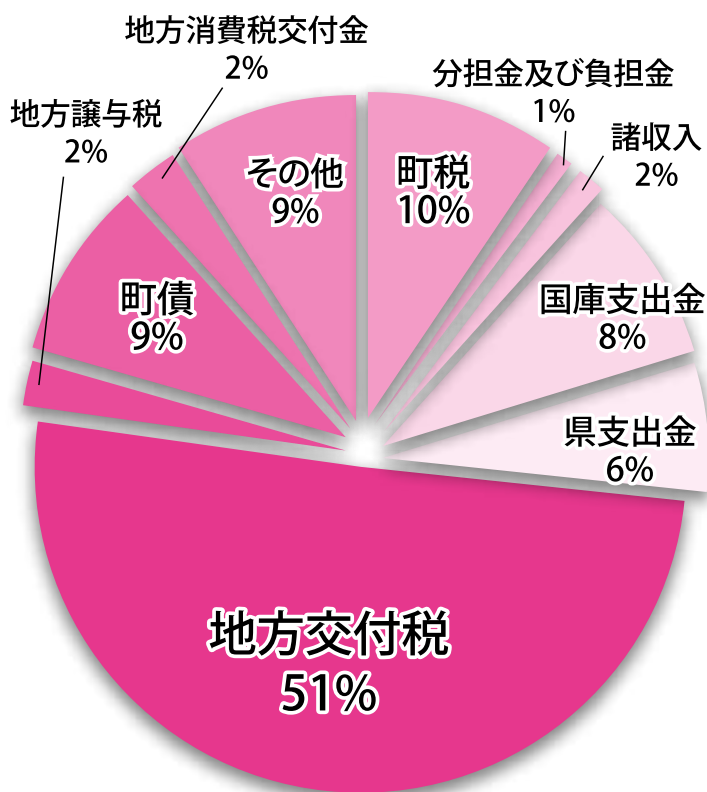
令和

一般会計 歳入

総額：48億900万円
(前年比 /105.1%)

令和4年度当初予算について、予算特別委員会を設置し3月9日から11日までの日程で審査しました。委員長に宮村尚哉議員が、副委員長に尾形憲男議員が選出され、厳正な審査が行われました。

財源	項目	令和4年度		
		予算額(千円)	構成比	前年比
自主	町税	467,759	9.7%	96.8%
	分担金及び負担金	27,136	0.6%	100.9%
	諸収入	78,409	1.6%	105.3%
依存	国庫支出金	408,351	8.5%	96.7%
	県支出金	302,052	6.3%	101.5%
	地方交付税	2,440,000	50.7%	106.1%
	地方譲与税	109,744	2.3%	105.9%
	町債	422,300	8.8%	97.3%
	地方消費税交付金	119,751	2.5%	113.4%
	その他	433,498	9.0%	132.3%
	合計	4,809,000	100.0%	105.1%



自主財源	573,304	13.1%	98.1%
依存財源	3,802,198	86.9%	103.8%

特別会計

企業会計 (水道事業)

収益的収入及び支出

歳入：1億6306万円
歳出：1億5344万円

資本的収入及び支出

歳入：2億4128万円
歳出：3億1705万円

特別会計

国民健康保険事業

歳入：8億330万円
歳出：8億330万円

介護保険事業

歳入：9億6890万円
歳出：9億6890万円

後期高齢者医療

歳入：8400万円
歳出：8400万円

診療所及び老健施設

歳入：4億560万円
歳出：4億560万円

田子町サンモール商店街 晴の市



田子町サンモール商店街で毎週木曜日に開催されている晴の市へ行ってきました。会場はキッチンカーや移動販売車からたまたまよう美味しい匂いや、陳列されている食べ物に、心とお腹をつかまれてしまいました。(宮村 尚哉)



幅広い客層が訪れていました。



幸せな気持ちにしてくれるバターの甘い香り。

編集後記

厳しい冬から、暖かい春の訪れが感じられるようになってきました。まだまだ新型コロナウイルスの収束が見えてきませんが、新たな生活様式、感染対策をしっかりとし、出来ることをできる限り行うことで活気が戻り、町民の皆様が安心して生活できるよう議会議員一同、当局と一丸となり町政運営に取り組んでいきたいと思えます。

(尾形 憲男)

発行・編集責任者

議長 澤口 勝

議会広報編集委員会

(111号)

委員長 宮村 尚哉

副委員長 宇藤 大介

委員 尾形 憲男

欠端 則夫

北田 騰

執筆協力

山崎美代志